

豊川市文詩集「えんぴつ」の発刊にあたり

豊川市文詩集「えんぴつ」は、発刊を重ね、令和元年度で六十三号となりました。市内の小中学生が書いた生活作文、説明的文章、詩に加えて、読書感想文も掲載され、長年にわたりご愛読いただいてまいりました。

しかし、令和二年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、年度初めに全国で臨時休業期間があり、やむなく発刊を断念せざるを得ませんでした。また、近年発行部数が減少しているという状況が続いております。

こうした中、今まで以上に子どもたちの作品を多くの方に読んでいただくために何ができるのかを、現職研修委員会国語部を中心に話し合っていました。冊子であれば、保管も容易であり、何よりもすぐ手にして何度でも読み返すことができるという良さがあります。それ以外にも何か方法はないかと模索した結果、第六十四号よりHPに掲載するという方法に移行することといたしました。一方でGIGAスクール構想が前倒しとなり、本市でも令和三年度には小中学校ともに一人一台のタブレット端末が配置されたことにより、ウェブ化することにより、授業の中や朝の読書の時間などでも、多くの作品を読むことができる体制も整いました。令和三年度より冊子としての発刊はなくなりますが、今まで同様、豊川市の子どもたちの作品に目を通していただきませうようお願いいたします。

令和四年五月吉日